学校番号	T0104

令和３年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造（東京書籍）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭科はこれからの生活を営む上で基礎・基本となる大切な教科です。
身近な事柄をきっかけに、家族・住生活・保育について学びます。また、実習やグループワークを通して基礎的な技術を身につけることを目指します。

２　学習の到達目標

家族・住生活・保育に関する基礎的・基本知識な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上を図る力と実践的な態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	家族、住生活、保育について感心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	家族、住生活、保育について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	家族、住生活、保育に関する基礎的・基本的な技能を身につけている。	家族、住生活、保育に関する基礎的･基本的な知識を身につけている。
評価方法	・プリントの感想欄等の記述 ・授業に向かう姿勢	・プリントのワーク欄等の記述 ・定期考査の結果	・実習の技能 ・実習のレポートの記述 ・定期考査の結果	・定期考査の結果 ・映像の鑑賞 ･提出プリントの記述

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="9">前期</td><td rowspan="3">自分らしい人生をつくる</td><td>現代の家族の
特徴について理解する</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="3">a:家族について興味・関心を持てている
b:家族を主体的に捉え自身の考えを持つことができる
c:家族に関する問題を解決する方法を持つことができる
d:家族に関する正しい知識を身につけている</td><td rowspan="9">学習状況
実習
レポート
プリント
定期考査</td></tr>
<tr><td>家族・家庭に関する
法律を学ぶ</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>男女がともに家庭生活の
責任を果たすことに
ついて理解する</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>高齢社会を生きる</td><td>高齢者への支援のあり方
を考える</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>a:高齢社会について興味・関心を持てている
b:高齢社会を主体的に捉え自身の考えを持つことができる
c:高齢社会に関する課題を解決する方法を持つことができる
d:高齢社会に関する正しい知識を身につけている</td></tr>
<tr><td rowspan="4">住生活をつくる</td><td>住居の成り立ちと現代の
住生活について学ぶ</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="4">a:住生活について興味・関心を持てている
b:住生活を主体的に捉え自身の考えを持つことができる
c:住生活に関する問題を解決する方法を持つことができる
d:住生活に関する正しい知識を身につけている</td></tr>
<tr><td>住む人の生活と住空間に
ついて理解する</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>健康で快適な住居と住ま
い方について学ぶ</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>住居実習
(耐震実験)</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

後期	子どもと共に育つ	乳幼児期の成長と発達について学ぶ				○	a:保育について興味・関心を持てている b:保育を主体的に捉え自身の考えを持つことができる c:保育に関する問題を解決する方法を持つことができる d:保育に関する正しい知識を身につけている	
		子どもの生活と保育について学ぶ	○	○	○			
		子どもの遊びを理解する		○		○		
		保育実習 （グリーティングカード）	○		○	○		
		子どもの健康と安全について学ぶ		○		○		
		調理実習 （離乳食・おやつ）	○		○	○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元ですべての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○をつけている。